

## 大都市交通センサスの調査概要

### ○第13回調査について

第13回大都市交通センサス調査は、新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期して令和3年度に実査を行いました。

第12回調査までは、駅において鉄道利用者の皆様に紙の調査票を配布し、郵送等にて回収したうえで拡大する手法にて調査を実施（サンプル調査（32万件））しておりましたが、今回調査においては、コロナ感染症の感染状況を踏まえ、鉄道ICカードの利用実績をもとに集計する手法（非接触かつ全数調査（1915万件））等に変更しております。このため、標本誤差のない結果が得られるようになりました。なお、調査手法が異なることから、従前の調査との比較をする場合には注意が必要です。

### ○調査の目的

首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏における鉄道・バス等の大量公共交通機関の利用実態を調査し、旅客流動量や鉄道・バス等の利用状況（利用時間帯分布等）を把握するとともに、人口分布と輸送量との関係等の分析を行い、公共交通ネットワークの利便性向上、交通サービスの改善等の公共交通政策の検討に資する基礎資料を提供することを目的とする。

### ○調査の根拠法令

統計法に基づく一般統計調査

### ○調査の対象

#### 1. 調査対象の範囲

<地域>

首都圏、中京圏、近畿圏の三大都市圏

#### 2. 対象事業者

定期券発売実績調査：鉄道定期券を発売する事業者等  
ICカード調査：鉄道事業者等

### ○調査事項

#### 1. 定期券発売実績調査

- ・通勤定期券発売枚数（通用期間別）
- ・通学定期券発売枚数（通用期間別）
- ・定期券発売枚数（総数）
- ・定期券発売枚数（調査対象区域外）
- ・定期券発売枚数（性別・年齢階層別）

#### 2. 鉄道ICカード調査

- ・駅ID
- ・カードIDのハッシュ値

- ・ 処理種別
- ・ 処理時刻

## ○調査の時期及び方法

### 1. 調査の周期

5年（西暦の末尾が0または5の年）

※新型コロナウイルス感染症拡大のため2020年度分については2021年度に実施。

### 2. 調査対象日

#### (1) 調査対象日

令和3年12月の平日